

大人のための情報モラル通信

SNSに起因する出会い被害について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

日本では**平成24年**頃から携帯電話よりもスマートフォンの利用が多くなり、SNSを利用する人も増え、**ネット上のコミュニケーション**がどんどん増えていきました。

その結果、大人同士だけでなく、大人と子どもが直接交流できる機会も多くなり、SNSの利用をきっかけにした**子どもの犯罪被害者**も増えていきました。

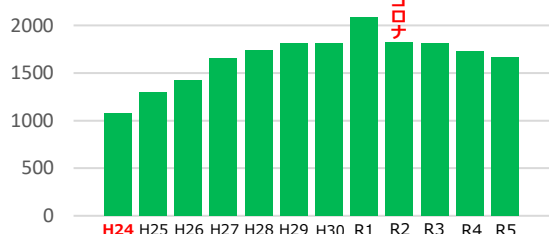


SNS全盛期到来！

いわゆるガラケー時代は、各通信事業者や国内のサービス事業者の努力によりこのような被害は抑えられていましたが、スマホ・SNSの普及で状況は変わりました。

世界的なSNSサービスは日本国内のサービスと同じレベルの手厚い安全対策はありません。コロナ前の令和元年に**子どもの犯罪被害者数**はピークになりました。

SNS等に起因する被害児童数(18歳未満・警察庁資料より)



コロナ前まで右肩上がり！

以後は高止まり…

★利用者自身に安全への意識が求められる時代に★

なお、犯罪被害の大半は**性犯罪**です。ネット友達と実際に会って被害を受ける、会わなくても画像や動画を送られる、悪い大人が手を変え品を変え子どもに揺さぶりを掛けます。

また、最近特に要注意なのが**小学生の被害者**です。小学生がSNSを使うことがほぼなかったと思われる平成24年の被害者数は**11人**でしたが、令和5年には桁違いの**139人**になっています。

そもそもSNSには**利用規約**があり、多くは**13歳未満利用禁止**になっています。そのような中で小学生がルールを破ってSNSを利用し、悪い大人の毒牙に掛かっています。被害者には酷ですが、被害者側の責任について考える時期に来ています。



SNS利用規約？

何ぞれおいしいの？

被害者側の責任とは、**子どもを守れなかった保護者の責任**です。加害者に責任を取らせても被害はなかったことになりません。事後に被害者側の責任に言及するのは憚られます。平時にこそ、**被害者が事件に巻き込まれる要因**を冷静に考えてはどうでしょうか。